

第2回全国子ども家庭養育支援地域ネットワークセミナー (岐阜大会) 開催要綱

1 研修のねらい

周知のとおり、子ども家庭庁設置法及び子ども基本法が制定され、なお一層子どもの権利擁護の推進を図ることになりました今日、社会的養護関係者には、子どもの意見表明や参画を推進するとともに、家庭養育優先原則に基づく様々な改革と要保護児童家庭に対する地域支援・ファミリーソーシャルワーク機能の拡充が求められています。さらに基礎自治体においても、子ども家庭センターの整備が喫緊の課題となっています。

こうした情勢を踏まえ、本研修会は、里親やファミリーホーム養育者、児童家庭支援センターやフォスタリング機関の相談員・心理職員、基礎自治体や児童相談所のケースワーカー、社会的養護施設所属の家庭支援専門相談員や里親支援専門相談員等として活動されている方々、さらには当事者ケアリーバーらが一堂に会し連携を深めるとともに、地域における里親養育支援や要保護児童家庭支援のスキルアップをはかる機会として開催いたします。

この新たな集いの場が、“子どもを育む人を育む”学び舎となるとともに、各々の地域コミュニティにおいて支援者同士をつなぐネットワーク構築の契機となることを期待します。

- 2 主 催 全国子ども家庭養育支援研究会
- 3 後 援 厚生労働省
(予 定) 岐阜県
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
公益財団法人 全国里親会
一般社団法人 日本ファミリーホーム協議会
全国児童家庭支援センター協議会
- 4 協 力 中部地区児童家庭支援センター協議会
岐阜県児童福祉協議会
オレンジリボン岐阜ネット
- 5 開 催 日 2022年9月7日(水)
- 6 開 催 地 ホテルグランヴェール岐山(岐阜市柳ヶ瀬通6-14)
- 7 参加対象者 里親、ファミリーホーム養育者、児童家庭支援センター・フォスタリング機関の相談員・心理職員、子育て世代包括支援センター・子ども家庭総合支援拠点の支援員、里親支援専門相談員・家庭支援専門相談員等、児童相談所児童福祉司・里親委託推進員・要保護児童対策協議会関係者等
- 8 参 加 費 里親関係 3,000円
施設・児家セン関係 5,000円
※当日会場にて徴収します。オンライン参加費は無料。
- 9 定 員 200名 会場参加50名 オンライン参加150名
※会場参加者は定員になり次第、募集を打ち切ります。

10 時 間 割

09:30～10:00	受付
10:00～10:30	開会式 <主催者、野田聖子国務大臣、岐阜県子ども・女性局長、岐阜市長 挨拶>
10:30～12:00	講義① <パネルディスカッション：90分>
12:00～13:15	昼食
13:15～14:45	講義② <パネルディスカッション：90分>
14:45～15:00	休憩
15:00～16:30	講義③ <パネルディスカッション：90分>
16:30～16:50	閉会式 <主催者・次期開催地代表 挨拶>

11 講義内容等

講義①「子どもの意見表明権の保障と子ども参画の推進」

パネリスト	岐阜県内の施設や里親家庭で育ったケアリーパー	3名
助言者	大分大学学長特命補佐 (福祉・地域共生社会推進担当)	相澤 仁 氏
コーディネーター	子ども家庭支援センターぎふ「はこぶね」里親支援部	川嶋久美子 氏
論点)	子どもが自由に意見を表明したり、参画したりしていくために必要なこと	

講義②「里親・ファミリーホームが求める“地域子ども家庭支援の新たなかたち”」

パネリスト	全国里親会	会長	河内 美舟 氏
	日本ファミリーホーム協議会	会長	北川 聡子 氏
	とちぎ家庭養育推進協議会	理事	福田 雅章 氏
助言者	厚生労働省子ども家庭局総務課	課長補佐	胡内 敦司 氏
コーディネーター	全国児童家庭支援センター協議会	会長	橋本 達昌 氏

論点) 全国の里親・ファミリーホームの現状と課題
栃木県におけるフォスターリング事業と多機関連携の実際
全国里親会、日本ファミリーホーム協議会と全児家センによる相互支援協定の意義

講義③「多様な機関の連携による子ども家庭支援体制の充実」

パネリスト	岐阜県健康福祉部子ども家庭課	虐待対策監	谷倉 祐二 氏
	岐阜羽島ボランティア協会	理事長	川合 宗次 氏
	児童養護施設 樹心寮	寮長	神谷 俊介 氏
助言者	日本大学 危機管理学部	教授	鈴木 秀洋 氏
コーディネーター	日本児童育成園	統括施設長	長縄 良樹 氏

論点) 市町村における子ども家庭相談支援の拠点づくり
地域コミュニティでの社会的養護施設と里親との連携・協働

12 申込方法等

別紙参加申込書を8月12日(金)迄に、下記宛先までE-mailにて送信ください。

E-mail 宛先 ⇒ はこぶね (hakobune@viola.ocn.ne.jp) 担当：山田、川嶋

※本セミナーは、公益財団法人 資生堂社会福祉事業財団様の助成を得て実施します。